

## マイクロカセット™コーダー

### 取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。  
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## M-670

© 2004 Sony Corporation Printed in China

### ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前のために録りをしてください。
- マイクロカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- カセットテープは「MICROCASSETTE」の表示があるものをご使用ください。この表示のないテープは、このマイクロカセットコーダーでは使用できない場合があります。

テープA面には小さなおぼみがあり、暗いところでもA面B面の区別ができます。



あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はご購入の日より1年間です。

### アフターサービス

#### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

#### それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

#### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

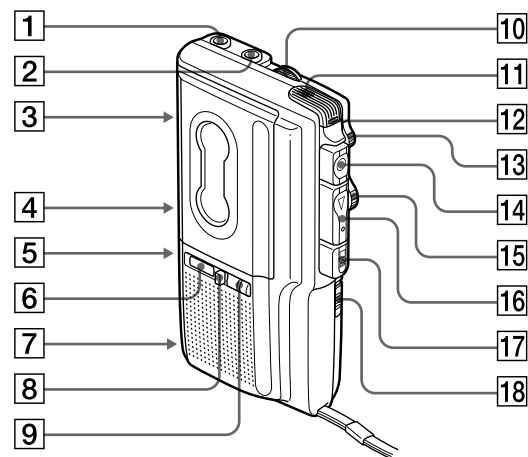
#### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

#### 部品の保有期間について

当社ではマイクロカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

## 各部のなまえ



- イヤホンジャック
- マイク(プラグインパワー)ジャック\*
- VORスイッチ
- テープスピードスイッチ\*
- DC IN 3Vジャック
- テープカウンター
- 電池入れ
- テープカウンタリセットボタン
- 電池交換ランプ
- 音量▲つまみ\*
- マイク(内蔵マイク)
- 録音/電池ランプ
- 一時停止スイッチ
- (録音)ボタン
- 早送り/キュー◀◀▶▶巻き戻し/レビューつまみ
- ◀(再生)ボタン\*
- ▶▶(カセット取り出し・停止)ボタン
- 速聞き再生▶▶スイッチ

\* 凸点(突起)があります。操作の目印としてお使いください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは <http://www.sony.co.jp/support>

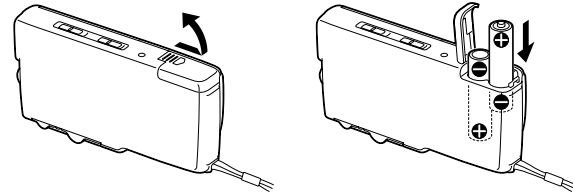
<b>使い方相談窓口</b> フリーダイヤル……………0120-333-020 携帯電話・PHS一部のパ電話…0466-31-2511	左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れる間に
<b>修理相談窓口</b> フリーダイヤル……………0120-222-330 携帯電話・PHS一部のパ電話…0466-31-2531 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	「304」+「#」 を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
FAX (共通) 0120-333-389	

## 準備する

乾電池での使いかたを説明します。コンセントでの使いかたは、「電源について」(裏面)をご覧ください。

### 1 乾電池を入れる

- ① 押しながら矢印の方向へずらし、持ち上げる
- ② 単4形乾電池2本を入れる

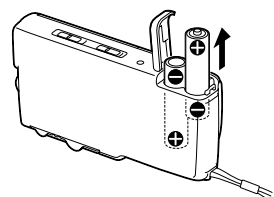


乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池をお使いください。

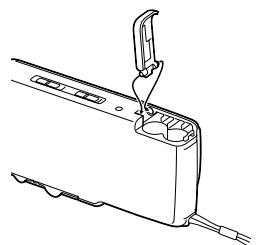
### ご注意

新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

### 乾電池を取り出すときは



### 電池入れのふたがはずれたときは



## 録音する

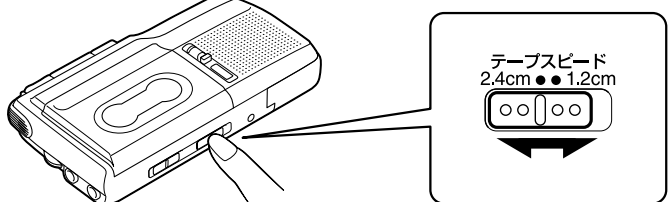
内蔵マイクですぐに録音できます。

### 1 カセットを入れる

- ① ▶▶を押してふたを開ける
- ② 録音を始める面をふた側にして入れる
- ③ ふたを閉める

### 2 テープ速度を選ぶ

テープスピードスイッチをどちらかに合わせる



### ご注意

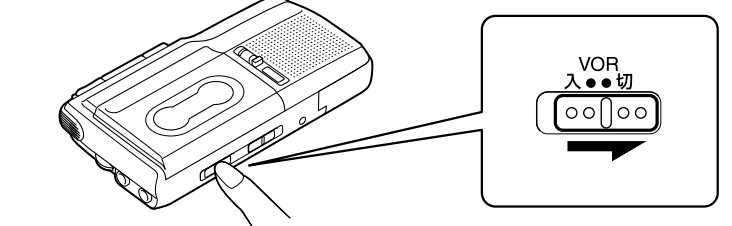
- 他のマイクロカセットレコーダーで再生する可能性がある場合は、なるべく2.4cm/sの速さで録音してください。1.2cm/sの速さで録音したテープを、他のマイクロカセットレコーダーで再生すると、再生音が異なる場合があります。

2.4cm: 通常の録音をするとき。「1.2cm」のときより良い音で録音できます。

1.2cm: テープを2倍の長さを使って録音するとき。(MC-60を使うと往復120分の録音ができます。)

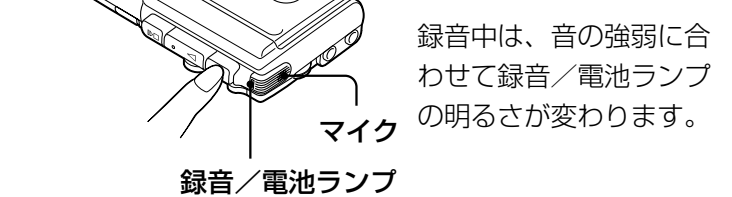
### 3 VOR(自動音声録音スタート)機能を「切」にする

ここでは通常の録音のしかたを説明します。VORスイッチは「切」にしてください。VOR機能を使って録音する場合は、「録音の便利な機能を使う」(裏面)をご覧ください。



### 4 録音する

●ボタンを押す  
◀ボタンが同時に押され、録音が始まります。



テープの終わりまで来ると、自動的に止まります。(オートシャットオフ機能)

操作	押すボタン、ずらすスイッチ
録音を止める	▶▶
一時停止する	◀一時停止を矢印の方向にずらす(録音/電池ランプは消灯する)。一時停止を解除するには、◀一時停止を元に戻す*
カセットを取り出す	▶▶を押して録音を止めてから、再度▶▶を押す。

\* 一時停止は▶▶ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップポーズリリース機能)。

## テープを聞く

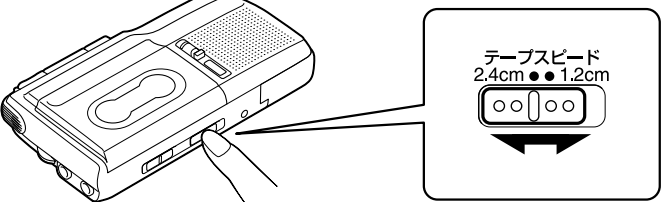
スピーカーから音が聞こえます。

### 1 カセットを入れる

- ① ▶▶を押してふたを開ける
- ② 再生を始める面をふた側にして入れる
- ③ ふたを閉める

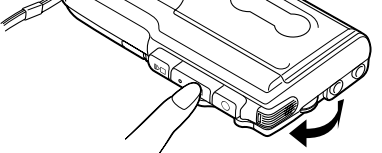
### 2 テープ速度を選ぶ

テープスピードスイッチを、録音したときと同じ位置に合わせる



### 3 再生する

- ① ◀ボタンを押す
- ② 音量▲つまみで音量を調節する



テープ速度がおかしいときは、テープスピードスイッチの位置を確認してください。テープの終わりまで来ると、自動的に止まります(オートシャットオフ機能)。早送り、巻き戻しをしてテープの終わりまで来たときは、必ず▶▶ボタンを押してください。

操作	押すボタン、ずらすつまみやスイッチ
テープを止める	▶▶
一時停止する	◀一時停止を矢印の方向にずらす(録音/電池ランプは消灯する)。一時停止を解除するには、◀一時停止を元に戻す*
早送りする**	停止中に早送り/キュー◀◀▶▶巻き戻し/レビューつまみを早送り/キュー◀◀の方向にずらす。
巻き戻す**	停止中に早送り/キュー◀◀▶▶巻き戻し/レビューつまみを▶▶巻き戻し/レビューの方向にずらす。
音を聞きながら早送りする(キュー)	再生中に早送り/キュー◀◀▶▶巻き戻し/レビューつまみを早送り/キュー◀◀の方向にずらす(指を離すとそこから再生する)。
音を聞きながら巻き戻す(レビュー)	再生中に早送り/キュー◀◀▶▶巻き戻し/レビューつまみを▶▶巻き戻し/レビューの方向にずらす(指を離すとそこから再生する)。
速聞き再生する	速聞き再生▶▶スイッチを矢印の方向にずらす。
カセットを取り出す	▶▶を押してテープを止めてから、再度▶▶を押す。

\* 一時停止は▶▶ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップポーズリリース機能)。  
\*\* 早送り、巻き戻しをしてテープが巻き取られたあとは、必ず▶▶ボタンを押してください。そのままにしておくとも電池が消耗します。

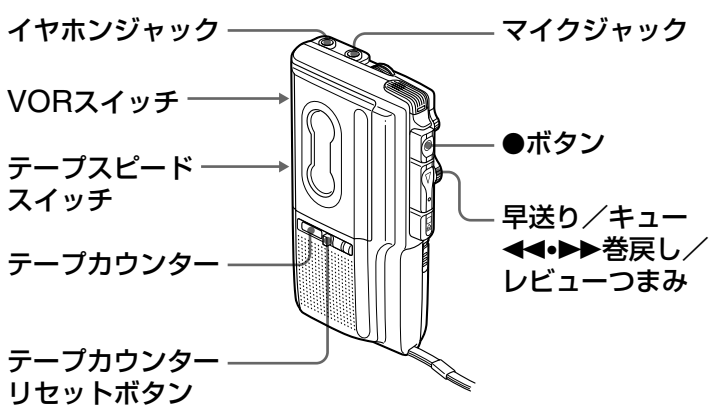
別売りのイヤホンケーブルをイヤホンジャックに差すと、両耳から聞こえます(音声はモノラルです)。

### ご注意

再生中に巻き戻し(レビュー)をしてテープの端まで巻き戻されたとき、指を離しても早送り/キュー◀◀▶▶巻き戻し/レビューつまみが中央に戻らないことがあります。このような場合は、つまみを中央に戻すと再生が始まります。

## ▶録音する一応用

## 録音の便利な機能を使う



### テープカウンターを使う

録音を始める前に、テープカウンターリセットボタンを押しして「000」にします。頭出しに便利です。

### 音がしたとき自動的に録音を始める(VOR機能)

VORスイッチを「入」にして●ボタンを押します。ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると止まります。録音の途中でテープを止める手間はがぶけるので口述録音するときに便利です。また、空録音の部分がなくなり、テープが有効に使えます。録音中にVORスイッチを「入」にすることもできます。

<b>ご注意</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>VOR機能は周囲の環境に左右されます。VORスイッチを「入」にしても思い通りに録音できないときは、VORスイッチを「切」にしてください。</li> <li>音を感じてから録音が始まるので、言葉の初めの部分は録音されることがあります。大切な録音のときは、VORスイッチを「切」にしてください。</li></ul>

### 録音中の音を聞く

別売りのイヤーレシーバーをイヤホンジャックにつなぎます。聞こえる音量は一定で、音量▲つまみで調節することはできません。録音される音の大きさも一定に保たれます。

## 後追い録音をする

再生中に●ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音したものの一部分を修正したいときなどに便利です。

## 録音したものをすぐに聞く(ワンタッチレビュー)

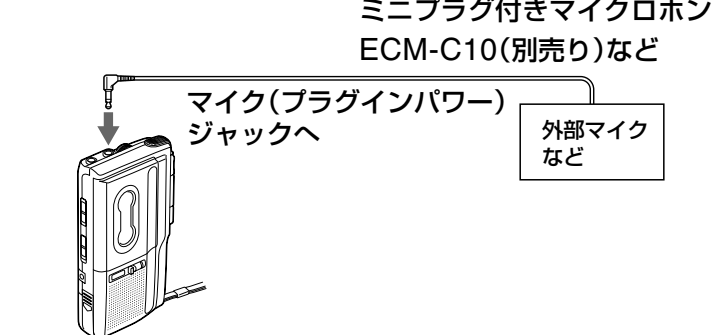
録音中に早送り／キュー◀◀▶▶巻き戻し／レビューつまみを▶▶巻き戻し／レビューの方向にずらすとテープが巻き戻され、手を離すとそこから再生が始まります。

## 外部マイクや他の機器から録音する

<b>ご注意</b>
<p><b>録音する前に</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>接続コード類のプラグはしっかり差し込んでください。</li> <li>接続や音量調節の失敗を防ぐため、本番前に試し録音をしてください。</li> <li>外部マイク(別売り)の感度は製品によって異なります。VOR機能を使う場合、VORスイッチを「入」にしますが、思い通りに録音できないときは「切」にしてください。</li> <li>下記の接続例ではソニー製品を使用しています。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。</li></ul>

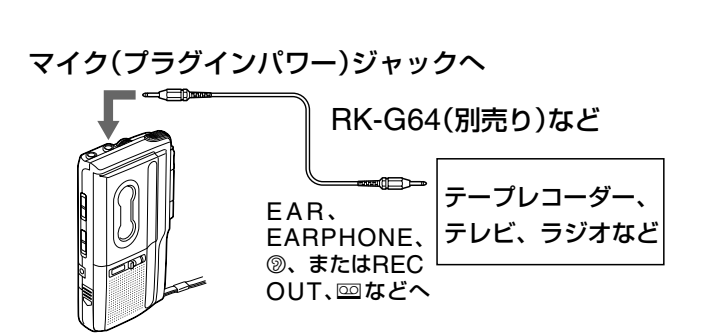
### 外部マイク(別売り)から録音する

マイクジャックにプラグをしっかりと差し込むと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクをつなぐと、マイクの電源は本機から供給されます。



本機にカセットを入れ、●ボタンを押します。

## 他の機器から録音する

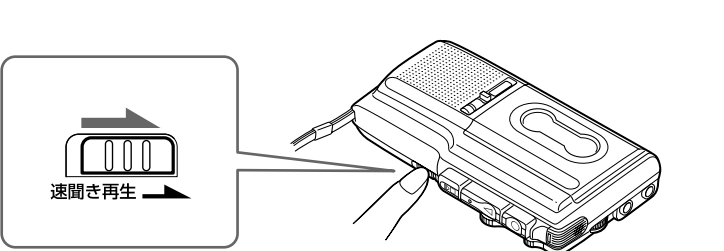


- 本機にカセットを入れます。
- 録音する音を他の機器から出し、聞きやすい音量にします。(テレビやラジオのREC OUTや④ジャックなどから録音するときは、他の機器で音量を変えても録音には影響しません。)
- 本機の●ボタンを押します。

## ▶テープを聞く一応用

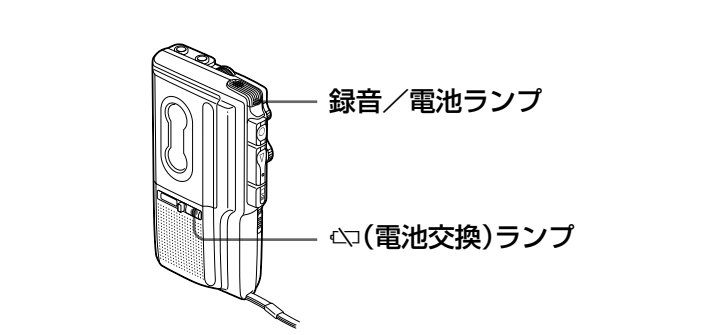
## 速聞き再生する

速聞き再生→スイッチを矢印の方向にずらします。元々の速度に戻すには矢印の反対方向にずらします。効率良く聞き返したいときに便利です。



<b>ご注意</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>電池持続時間は周囲の温度や使用状態、電池の種類により、短くなる場合があります。</li></ul>

電池が消耗すると、テープ走行が不安定になったり雑音が多くなります。再生／録音中に録音／電池ランプが暗くなり、⊖(電池交換)ランプが点滅したら、乾電池を2本とも同じ種類の新しいものと交換してください。



	録音／電池ランプが明るく点灯	残量は充分です。
	録音／電池ランプが暗く点灯	残量が少なくなってきました。
	⊖(電池交換)ランプが点滅	乾電池を交換してください。

<b>ご注意</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>⊖ランプが点滅し始めても、しばらくはテープが正常に動きますが、スピーカーから大きな雑音が出たり正しく録音されていないことがありますので、必ず乾電池を交換してください。</li> <li>次のような場合には電池を交換する必要はありません。 <ul style="list-style-type: none"><li>再生中に音量を上げたときなどに⊖ランプが音に応じて一時的にちらついた場合。</li> <li>テープの動きはじめやテープの終わりで、⊖ランプが瞬間的に点灯した場合。</li> <li>早送り●巻き戻し、またはキュー●レビュー中に⊖ランプが点滅した場合。</li></ul></li></ul>

<b>電池の持続時間*</b>		
<b>使用電池</b>	<b>録音時</b>	<b>再生時**</b>
ソニーアルカリ乾電池LR03(SG)***使用時	約14.5時間	約9時間
ソニーマンガン乾電池R03(SB)使用時	約5時間	約2.5時間

\* 電子情報技術産業協会(JEITA)規格による測定値です。(ソニーマイクロカセットテープ使用)

\*\* 音量7分目程度でスピーカー再生した場合。

\*\*\*日本製ソニーアルカリ乾電池LR03(SG)で測定しています。

## ▶電源について

## コンセントにつないで使う

- ACパワーアダプター(別売り)を本体のDC IN 3Vジャックにつなぎます。
- ACパワーアダプターをコンセントにつなぎます。

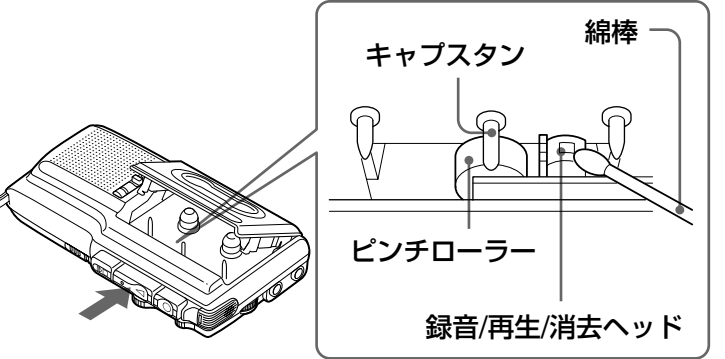
<b>ご注意</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E30L(極性統一形プラグ・JEITA規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。</li> <li>ACパワーアダプターは、容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。</li></ul>

## ▶その他

## お手入れ

### よい音で聞くために

10時間程度使ったら、市販のクリーニング液でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーを綿棒などできれいにしてください。



◀ボタンを押し込む

本体表面が汚れたときは水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

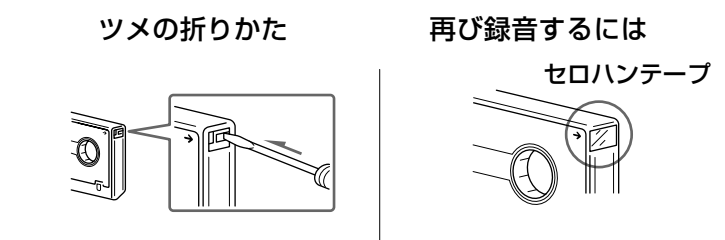
## 使用上のご注意

### 録音について

- カセットテープは（MICROCASSETTE）の表示があるものをご使用ください。
- マイクジャックに外部マイクや接続コードが差し込まれていると、内蔵マイクを使つての録音はできません。
- 録音中の音をイヤーレシーバーで聞いているとき、イヤーレシーバーの音をマイクが拾い、ピーという音が生じることがあります(ハウリング現象)。この場合はイヤーレシーバーをはずしてください。
- 録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中はスピーカーから音は出ません。別売りのイヤーレシーバーで聞いてください。

### 大切な録音を守るには

カセットのツメを折ります。ツメを折ると録音状態にできなくなるので録音した音声を誤って消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をふさぐと再び録音できます。図に示された部分以外にはテープを貼らないでください。



### 取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  - ほこりの多いところ。
- 長い間本機を使わなかったときは、再びお使いになる前に、数分間再生状態にして空回しをしてください。良い状態でお使いいただけます。

キャッシュカードや定期券などで、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気に変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

## 故障かな？

修理に出す前にもう一度お調べください。ご不明な点があるときはソニーの相談窓口へお問い合わせください。

症状	原因／処置
カセットがたが閉まらない。	<ul style="list-style-type: none"><li>カセットの向きが正しくない。</li> <li>◀(再生) ボタンが押し込まれていない。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>カセットが奥まで入っていない→奥まで入るように入れ直す。</li></ul>
操作ボタンを押しても動作しない。	<ul style="list-style-type: none"><li>乾電池の③と④の向きが正しくない。→向きを確認して入れなおす。</li></ul>

- 乾電池が消耗している。→2本とも新しいものと交換する\*。
- ←一時停止スイッチが矢印の方向へずらされている。
- ACパワーアダプターが正しく接続されていない。
- ACパワーアダプターやカーバッテリーコードが本体に差したままになっている。→乾電池使用時には本体から抜く。

症状	原因／処置
録音できない。	<ul style="list-style-type: none"><li>カセットが入っていない。</li> <li>カセットのツメが折れている。→録音内容を消す場合は穴をふさぐ。</li> <li>乾電池が消耗している。→2本とも新しいものと交換する*。</li></ul>
録音が途中で止まる。	<ul style="list-style-type: none"><li>VORが働いている。VORを使用しないときは、スイッチを「切」にする。</li></ul>
前の音が完全には消えない。	<ul style="list-style-type: none"><li>ヘッドが汚れている。→クリーニングする。</li></ul>
再生できない。	<ul style="list-style-type: none"><li>テープが終わりまで巻き取られている。</li></ul>
スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>イヤーレシーバーが差し込まれていない。</li> <li>音量が最小になっている。</li></ul>

音が小さい。音質がよくない。雑音が入る。

- 音量が最小になっている。
- 乾電池が消耗している。→2本とも新しいものと交換する\*。
- ヘッドが汚れている。→クリーニングする。

- カセットテープをスピーカーの上に直接置いたため、テープが磁化されて音質が劣化した。
- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。→携帯電話などから離して使用する。

再生速度が速すぎたり、遅すぎたりする。再生音がおかしい。

- 速聞き再生→スイッチが矢印の方向へずらされている。→矢印の反対方向にずらす。
- テープスピードスイッチの位置が、録音時と違う位置にある。→反対側に切り換える。

- 電池が消耗している。→2本とも新しいものと交換する\*。
- 乾電池が消耗している。→2本とも新しいものと交換する\*。

キューやレビュー中、途中で止まる。または動かない。早送りや巻き戻しができない。

\* 乾電池は、2本とも同じ種類の新しいものと交換してください。

## 主な仕様

トラック方式	マイクロカセットモノラル
スピーカー	直径28 mm
テープ速度	2.4 cm/s、1.2 cm/s
周波数範囲*1	300 Hz～4,000 Hz(テープスピードスイッチ「2.4cm」時)
入力端子	マイク(ミニジャック／モノラル)(プラグインパワー対応)(1)最小入力レベル 0.2 mVインピーダンス 3 kΩ以下のマイク用イヤホン(ミニジャック／モノラル)
出力端子	(1) 負荷インピーダンス 8 Ω～300 Ωのイヤホン用450 mW(DC時)DC 3 V、単4形乾電池2本使用約54.8 mm × 106.8 mm × 21.5 mm(幅/高さ/奥行き)最大突起部含む
質量	本体 約92 gご使用時 約118 g(乾電池R03(SB)2本、マイクロカセットテープMC-60を含む)
付属品	ソニーマンガン乾電池(単4形)R03(SB)(2)(お試用*2)キャリングポーチ(1)取扱説明書・保証書(1)ソニーご相談窓口のご案内(1)
別売りアクセサリ	ACパワーアダプター AC-E30L(極性統一形プラグ・JEITA規格)カーバッテリーコード DCC-E230ズームマイク ECM-Z60、タイプン型マイク ECM-C10など接続コード RK-G64ステレオイヤーレシーバー MDR-E931

\*1 電子情報技術産業協会(JEITA)規格による測定値です。

\*2 付属のマンガン乾電池はお試用です。購入する場合にはソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。